

開催の
ご案内

施設園芸新技術セミナー ・ 機器資材展 in 北海道

施設園芸・植物工場における先進技術と 北海道の地域農業を支える施設園芸

本セミナーは、「施設園芸・植物工場における先進技術と北海道の地域農業を支える施設園芸」をメインテーマに、2部構成として2日間に亘り開催いたします。

第1部では「施設園芸新技術とスマート農業による生産性向上に向けて」をテーマに、スマート農業(ロボット技術やICT等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業)とグリーン化を推し進めるための行政施策、高度植物生体情報を活用した環境配慮型デジタル施設園芸、持続的施設園芸構築に向けたスマート戦略、木質バイオマス活用の大型施設園芸のエネルギー戦略、コンサルの立場から農業現場におけるカイゼンの取組みなどについて、新技術の現場への導入促進等の観点から、主として行政・研究機関や学識経験者の方にご講演して頂く予定です。

第2部では「北海道の地域農業を支える先端施設園芸への取り組み」をテーマに、北海道内行政・試験研究機関・農業改良普及センター・JA・大規模施設園芸生産者の各取組研究成果や生産者に直接役立つ経営事例や生産現場への新技術の導入事例、現場での対応技術等について、北海道内の方々からの話題提供を予定しています。

なお、併催行事として、農業用生分解性資材普及会が、生分解性マルチ導入促進事業の一環で「**生分解性マルチ導入促進セミナー**」を予定しています。

◆日時:10月31日(木) 13:30~15:00

●日程

令和6年10月30日(水)~10月31日(木)

●会場

かでの2・7ホール (道民活動センタービル)
(札幌市中央区北2条西7丁目)

●参加費

セミナー聴講:1,000円(2日間でも1,000円)

【テキストは別売:2,500円/1冊】(当日現金支払い)

機器資材展見学のみは入場無料



アクセス

JR札幌駅南口 徒歩13分

地下鉄さっぽろ駅(10番出口)徒歩9分

主催:一般社団法人 日本施設園芸協会

後援:農林水産省北海道農政事務所
北海道

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
札幌市

協賛:北海道農業協同組合中央会

ホクレン農業協同組合連合会

北海道農業共済組合

公益財団法人 北海道農業公社

北海道果樹協会

北海道花き生産連合会

北海道鉢花生産組合

北海道種苗協同組合

札幌市農業協同組合

一般社団法人 日本種苗協会北海道支部

農研機構 北海道農業研究センター

全国農業協同組合連合会 耕種資材部

全国野菜園芸技術研究会

一般社団法人 農業電化協会

一般社団法人 全国農業改良普及支援協会

(後援、協賛は申請中)

機器資材展

●展示出展の申込みは、園芸情報センター
TEL:03-3233-3634



■10月30日(水)
11:30~17:30
■10月31日(木)
8:30~13:30

●施設園芸資材、植物工場関連の機器資材など
数多くの展示を予定!

併催『生分解性マルチ導入促進セミナー』

併催行事として、農業用生分解性資材普及会が、生分解性マルチの機能・特性の解説、普及状況、利用事例等を紹介する『**生分解性マルチ導入促進セミナー**』を開催。

日時:10月31日(木) 13:30~15:00(予定)
参加費無料

※問合せ:農業用生分解性資材普及会(ABA) 電話:03-3233-3633

講 演

【第1日目】 10月30日(水) 12:30開講(11:30より開場)

12:30~13:00	主催者・来賓挨拶	
《第1部 施設園芸における新技術とスマート農業による生産性向上に向けて》		
時間割	講演テーマ	講演者
13:05~13:50	みどりの食料システム戦略の実現に向けた施設園芸の役割	農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ 調整官 清水 治弥 氏
13:50~14:30	高度植物生体情報を活用した環境配慮型デジタル施設園芸	豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授・ 愛媛大学大学院農学研究科 教授 高山 弘太郎 氏
14:30~15:00	資料プレゼンテーションおよび展示見学	
		機器資材展出展社
15:00~15:40	持続的施設園芸構築に向けたスマート戦略	千葉大学 大学院 園芸学研究院 教授 中野 明正 氏
15:40~16:20	大規模施設園芸における再生可能エネルギーの活用	株式会社デ・リーフデ北上 総務部長 阿部 淳一 氏
16:20~17:00	農業現場におけるカイゼンの取組み	トヨタ自動車株式会社 新事業企画部 アグリバイオ事業室 現場改善グループ 主任 河原 大樹 氏

【第2日目】 10月31日(木) 9:00 開講(8:30より開場)

《第2部 北海道の地域農業を支える先端施設園芸への取組み》		
9:00~ 9:30	北海道における施設園芸の推進について	北海道農政部生産振興局農産振興課 園芸担当課長 勝藤 彰 氏
9:30~10:00	北海道のパイプハウスにおける環境制御技術	地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部 上川農業試験場 生産技術グループ主査(園芸) 古山 真一 氏
10:00~10:30	地域が動いたフルーツトマト栽培	①上川農業改良普及センター上川北部支所 専門主任 長谷 恵理 氏 ②JA北はるか青果生産振興会下川支部トマト部会 部会長 三島 卓 氏
10:30~11:00	資料プレゼンテーションおよび展示見学	
		機器資材展出展社
11:00~11:30	低コストで導入可能な環境制御技術によるなす隔離床養液栽培	石狩農業改良普及センター 専門普及指導員 谷村 健太 氏
11:30~12:00	イチゴの大規模太陽光利用型植物工場における取組み	苫東ファーム株式会社 生産部長 米森 淳 氏

■ 参加申込みは下記へFAXまたはメール等をお願い致します。

**参加申し込み
お問い合わせ先**

FAX:03-3667-1632

TEL:03-3667-1631

URL: <https://www.jgha.com>

一般社団法人 日本施設園芸協会

担当者E-mail: chiiki-seminar@ml.jgha.com

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階

担当者: 平島、高橋、阿部

参 加 申 込 書

【申込み締切 10月8日(火)】

参加者氏名	参加者区分	住所と勤務先(部署名)	上段:電話番号 下段:FAX番号	セミナー 聴講日	機器資材 展のみ 見学	テキスト希望 (○印)
(フリガナ)	1. 農家 2. 農業団体 3. 行政機関 4. 企業 5. その他	(〒 -)		30日	30日	
		勤務先: E-mail:		31日	31日	
(フリガナ)	1. 農家 2. 農業団体 3. 行政機関 4. 企業 5. その他	(〒 -)		30日	30日	
		勤務先: E-mail:		31日	31日	
(フリガナ)	1. 農家 2. 農業団体 3. 行政機関 4. 企業 5. その他	(〒 -)		30日	30日	
		勤務先: E-mail:		31日	31日	